

豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまち

とえだ

広報

Soeda
Public
Relations



初めての英彦山がら
絵付け体験♪

◎ふる里まつり(詳細は最終ページ)

NOV.2018

11

No.685

●平成30年度全国学力・学習状況調査結果

教育のひろば

図 教育委員会学校教育課 (☎ 82-5963)

小学校6年生と
中学校3年生を対象、
学力と学習状況の
調査結果を公表します

町内小学校6年生と中学校3年生を対象に実施され
た平成30年度全国学力・学習状況の調査結果が公表
されました。今回の教育のひろばでは、その結
果から添田町の教育の現状を考えます。

平成30年度 全国学力調査
添田町と福岡県、全国の平均正答率(%)

	小学6年生			
	国語A	国語B	算数A	算数B
添田町	70.0	49.0	59.0	45.0
福岡県	71.0	55.0	63.0	51.0
全 国	70.7	54.7	63.5	51.5

	中学3年生			
	国語A	国語B	数学A	数学B
添田町	65.0	51.0	58.0	36.0
福岡県	75.0	61.0	65.0	46.0
全 国	76.1	61.0	66.1	46.9

※国語A：基礎基本、国語B：活用、算数・数学A：基礎基本、算数・数学B：活用

学力調査 学力調査の結果は、昨
年度の全国平均との差を比
較して、小学校では「国語B」
を除く「国語A」・「算数A」・「算数B」で縮
まっています。

中学校では、「国語A」で若干広がったものの、
「国語B」・「数学A」・「数学B」では、差が縮まっ
ています。依然として、小学校・中学校共に全国
平均を下回っている状況ですが、昨年度と比較す
ると、共に学力は上昇傾向にあります。

特に中学校については、近年落ち着いて学習に
向かう状況が定着しつつあります。この状況を維
持しながら、学力向上に集中して取り組めるよう
努力してまいります。小学校においても学年ごと
の実態をしっかりと把握し、個の実態に対応しな
がら学力向上の取り組みを進めてまいります。

そえだ立志の道

義務教育期間で「夢や希望を持て
る添田の子ども」を目指し、年
代に応じた取り組みを行う「そえだ
ドリームプロジェクト9年構想」の
事業の一環として、踏破鍛錬「そ
えだ立志の道」が10月18日から19日
の1泊2日で行われ、町内の全小学
校5年生77人が参加しました。
今年で6回目となるこの踏破鍛錬。
初日は天気にも恵まれ、JR彦山駅
から英彦山青年の家までの約9kmを
全員、踏破しました。翌日、天候不
良のため、英彦山登山を中止。青年
の家から英彦山神宮奉幣殿を経由し、
梵字岩を目指すコースに変更しまし
た。登山道で足場も悪い中、子ども
たちはお互いに励まし、協力し合い
ながら、無事、全行程を歩き終えま
した。この踏破鍛錬は、児童が寝食
を共にし、さまざまな体験学習を通
して「最後まであきらめず、何事にも
ねばり強く取り組み、仲間と協力し、
支え合いながら、交流を深め、時間
と規律を守って過ごす」ことで、「強
い志」を持てるようになることを目指
しています。



学習状況調査

学習状況調査の結果で
は、これまで改善され
ていた「朝食を全く食
べない」が昨年度より悪くなっ
ています。PTAの「早寝」「早起き」
「朝ごはん」の取り組みと
も協力しながら、基本的
生活習慣の定着を図るこ
とが大切です。

その他の項目でも、全
国平均より悪い数値が見
受けられる中、中学校で
「学校の決まりを守って
いる」が全国より上回っ
ていることから、学校の
状況が落ち着いていると
いうことが見えてきます。
ただ、小学校が全国より
下回っていることに対し
ては、意識して取り組み
を行わなければならない
と思います。

また、「読書を全くしな
い」児童が約3分の1、
生徒が約2分の1という
状況は、昨年より改善し
ているものの、読書しな
い傾向が依然と続いてい
ます。「家で宿題をしない」に関し
ては、全国より下回ってはいるも
の、昨年度よりはだいぶ改善
されています。
これらの項目については、今後、

学力向上・学習状況の改善など課題解決に向けて



学校、家庭が連携し 学習意欲を高める

学校や家庭とも連携を図りながら、
学習意欲を高めていくことで、改
善を図りたいと思います。
このような添田町の児童・生徒
の実態を受け、学校と保護者が共
通理解し、「早寝・早起き・
朝ごはん」、「学習に向か
う環境づくり」や「読書
に親しむ環境づくり」な
どに取り組んでいかなけ
ればなりません。
学校では、授業をより
良くするために「授業が
楽しい・分かった」と感
じさせる工夫、「身につい
た」ことを実感させる工
夫、「役に立った」と喜び
を味わわせる工夫を意識
し、教職員一人ひとりが
授業力を向上させながら
学力向上に取り組んでい
ます。

まとめ 教育委員会と
しても、児童
と生徒の町全
体の学力分析を行い、実
態に応じた取り組み内容
の具体化を図るとともに、
これまでの中学三年生を対象にし
た「英峰塾」と合わせて、小学校
5年生、6年生、中学校1年生、
2年生を対象とした「英峰日進塾」
の実施を継続していきます。

平成30年度 全国学習状況調査～添田町および福岡県、全国の平均回答率(%)～

	小学校6年生						
	毎日朝食を 食べていない	将来の夢や 希望を持って いない	自分で計画を 立てて勉強し ていない	家で宿題を 全くしない	ニュース番組や インターネット ニュースを見る	学校の決まりを 守っている	読書を 全くしない
添田町	6.9	11.1	11.1	4.2	45.8	38.9	31.9
福岡県	2.2	6.0	8.8	0.7	55.6	41.9	21.4
全 国	1.4	6.2	7.6	0.6	57.3	43.8	18.7

	中学校3年生						
	毎日朝食を 食べていない	将来の夢や 希望を持って いない	自分で計画を 立てて勉強し ていない	家で宿題を 全くしない	ニュース番組や インターネット ニュースを見る	学校の決まりを 守っている	読書を 全くしない
添田町	9.8	17.6	21.6	5.9	49.0	70.6	45.1
福岡県	3.2	9.3	14.1	1.5	50.0	63.2	37.2
全 国	2.6	10.0	13.0	1.9	52.4	63.4	32.9

昨年度の主な事業としては、朝日ヶ丘団地建替事業で平成30年度からの本格工事に向けての、解体工事や造成工事を行っています。また、平成29年2月に英彦山が国の史跡に認定されたことに伴い、歴史的風致推進と英彦山史跡認定を町内外に周知するための史跡指定記念講演会の開催や英彦山史跡保存活用計画の策定、英彦山周辺的地形測量などを行いました。

●町の財政状況を公表

財政状況を早期に把握し、破綻の未然防止や財政構造の弾力性を示す、健全化判断比率と資金不足比率、経常収支比率を公表します。

健全化判断比率	添 田 町	早期健全化基準
実質赤字比率 一般会計などの赤字から財政運営の深刻度をみる比率	— (△ 0.82%)	15.00%
連結実質赤字比率 すべての会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率	— (△11.84%)	20.00%
実質公債費比率 借金の返済額等の大きさから資金繰りの危険度をみる比率	6.2%	25.0%
将来負担比率 町が抱える負債の残高から将来財政への圧迫度をみる比率	— (△ 64.5%)	350.0%

※実質赤字比率と連結実質赤字比率は赤字額がなく、将来負担比率は実質的な負債がないため「—」と記載しています。()内は参考に黒字の比率を△（マイナス）で示しています。

資金不足比率	添田町水道事業	経営健全化基準
公営企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度をみる比率	— (△ 206.7%)	20.00%

※資金不足が生じていないため「—」と記載しています。()内は参考に剰余金の比率を△（マイナス）で示しています。

経常収支比率	平成29年度	平成28年度
財政の弾力性を判断する指標で数値が小さいほど弾力性がある	99.2%	99.8%

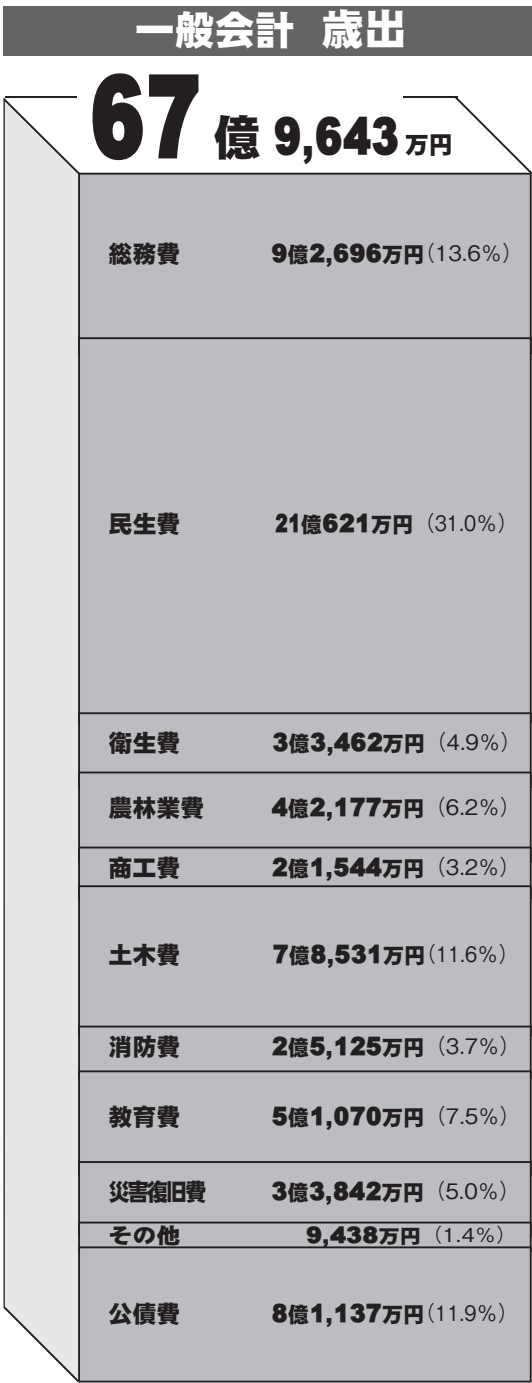
平成29年度の決算に基づく財政破綻防止を目的に示される健全化判断比率と資金不足比率の算定結果は上表のとおり、いずれも基準を下回り、比較的健全です。

しかし、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、99.2%と依然として厳しい状態にあります。今後も、自主財源の確実な確保に努め、限られた財源の中で更なる事業事務の見直しや経常経費の削減を図っていきます。

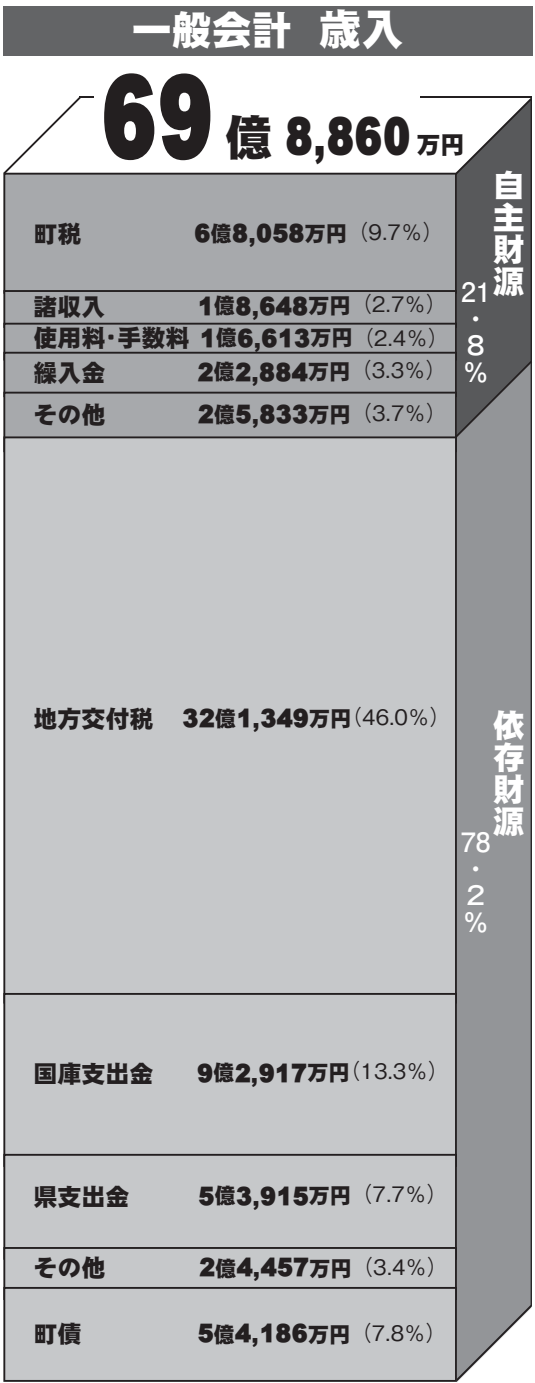
30年度予算 執行状況

平成 30 年度の上半期（平成 30 年4月1日～9月30日）の予算執行状況は一般会計と特別会計を合わせた収入額が 36 億 7,375 万円で、収入率は 35.67%となっています。また、支出額は 35 億 4,270 万円で、執行率は 34.41%となっています。

区 分	予算額	収入額	収入率(%)	支出額	執行率(%)	
一 般 会 計	86億7,231万円	29億6,109万円	34.14	29億3,828万円	33.88	
特別会計	国民健康保険	12億1,448万円	5 億911万円	41.92	4 億8,165万円	39.66
	後期高齢者医療	1 億8,088万円	8,397万円	46.42	5,028万円	27.80
	住宅新築資金等貸付	159万円	92万円	57.86	2 万円	1.26
	バ ス 事 業	2,200万円	1,897万円	86.23	874万円	39.73
	水 道 事 業	(歳入) 2 億727万円 (歳出) 2 億487万円	9,969万円	48.10	6,373万円	31.11
合 計	(歳入)102億9,853万円 (歳出)102億9,613万円	36億7,375万円	35.67	35億4,270万円	34.41	



【その他の内訳】 議会費：9,319 万円 (1.4%)
労働費： 119 万円 (0.0%)



【その他の自主財源】 分担金・負担金：6,408 万円 (0.9%)
財産収入：3,538 万円 (0.5%)
寄付金：1 億 1,645 万円 (1.7%)
繰越金：4,242 万円 (0.6%)
【その他の依存財源】 地方譲与税：5,713 万円 (0.8%)
地方消費税交付金：1 億 5,586 万円 (2.2%)
自動車取得税交付金ほか：3,158 万円 (0.4%)

特別会計	【歳入】19億5,334万円－【歳出】19億2,567万円＝【差引額】2,767万円
------	--

特定の事業を行うために一般会計とは別に設置される特別会計と水道事業に設置されている企業会計は、皆さんが支払う保険税や使用料で運営されています。本町の各特別会計の決算では、いずれも赤字はありませんでした。



平成29年度の決算がまとまりました。歳入歳出差引から翌年度繰越事業充当財源を差し引いた実質収支は一般会計 2,927 万円、特別会計は 2,767 万円。合計 5,694 万円の黒字決算となりました。

●決算の概要

区 分	平成28年度	平成29年度	対前年度増減額
歳入総額	65億9,118万円	69億8,860万円	3億9,742万円
歳出総額	64億4,877万円	67億9,643万円	3 億4,766万円
差引額	1 億4,241万円	1 億9,217万円	4,973万円
繰越充当額	77万円	1億6,290万円	1 億6,213万円
実質収支	1 億4,164万円	2,927円	△ 1 億1,237万円



昨年度の町のお金の動きを要チェック!!

平成 29 年度の一般会計の歳入決算額は、69 億 8,860 万円(対前年度比3 億 9,742 万円増)、歳出決算額は 67 億 9,643 万円（対前年度比 3 億 4,766 万円減）で差引額 1 億 9,217 万円です。また、特別会計と企業会計の決算額は、歳入総額が、19 億 5,334 万円（前年度比 7,505 万円増）で歳出総額 19 億 2,567 万円（前年度比 6,217 万円減）となり、差引額は 2,767 万円。一般会計の翌年度繰越事業充当財源の1 億 6,290 万円を差し引いた 2,927 万円と特別会計の差引額を合わせた 5,694 万円が黒字となりました。

一般会計の歳入は、住民の皆さんから納められた町税や町施設の使用料など、町が自分の力で収入する「自主財源」と国や県から交付を受ける「依存財源」に分かれています。その割合は自主財源が 21.8%、依存財源が 78.2%となっています。町税収入額は6 億 8,058 万円で前年度に比べ、465 万円 (4.6%)の増収。徴収率は、標準課税の的確な把握や滞納対策の抑止力により、98.27%となっています。今後も徴収努力などによって、税金などの自主財源を上げるための施策に取り組んでいきます。

各自で凍結の対策を

水道管の凍結・漏水の 予防と対策をしましょう



寒さが厳しくなると、水道管の凍結や破裂が予想されます。今年も寒波が来る恐れがありますので、十分な予防・対策をお願いします。

●屋外に露出している水道管を保温しましょう

屋外に露出している水道管は最も注意が必要です。保温材、タオル、布などを水道管に巻いて保温することで、凍結が起きにくくなります。

①屋外に露出している水道管に保温材を取り付ける

②屋外に露出している水道管に厚手のタオル、布を巻きつけて濡れないようにビニール袋を巻き、その上からビニールテープを巻く



翌朝の最低気温がマイナス4度以下になると予想されるなど、冷え込みが厳しくなるときは、浴槽などに少しずつ水を出すなど、水道管の凍結を防ぐ工夫をしてください。

●水道管が凍結して水が出ないときの対処法

気温の上昇で、凍結した水道管が自然に溶けるのを待つか、凍った水道管やじゃ口にタオルを巻きつけ、ぬるま湯をかけてゆっくり溶かしていきます。熱湯をかけたり、凍ったじゃ口を無理にひねったりすると、破損する恐れがあります。

☎ 役場水道課管理係 (☎ 82-5961)



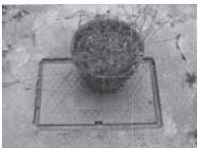
円滑な検針にご協力をお願いします

メーターボックスは 定期的にお手入れしましょう

水道課では、月に1回、水道メーター検針を行っています。水道メーターは自己管理するものです。円滑なメーター検針のために、メーターボックスと、周辺のお手入れをお願いします。



●ボックス内は清潔に保ってください



●上に物を置かないでください



●犬を近づけないでください



●付近の草は刈ってください

☎ 役場水道課管理係 (☎ 82-5961)

農地法の下限面積を引き下げました

空き家と一緒に 農地も売りたい・買いたい

添田町農業委員会は、平成30年10月から、添田町空き家バンクに登録されている空き家に付随した農地を、空き家とともに取得する場合に、農地法第3条による下限面積（別段面積）要件を1アール（100㎡）まで引き下げました。



▶空き家と農地と一緒に売りたい人

▷空き家が「添田町空き家バンク」に登録されていること
▷農地は空き家に付随した農地で、空き家と農地の所有者（登記の名義）が同一であること
※要件がありますので、詳しくは問い合わせください。

▶空き家と農地と一緒に買いたい人

▷空き家は「添田町空き家バンク」利用登録を行い、オーナーと交渉後に要件が合えば購入できます
▷農地は農業委員会の許可を得て購入できます
※取得した農地は必ず耕作することが条件です。要件がありますので、詳しくは問い合わせください。

☎ 農業委員会 (☎ 82-1237)
役場まちづくり課 (☎ 82-5965)

人権について考えてみませんか

人権擁護啓発強調月間です



12月1日(土)から31日(月)は「人権擁護啓発強調月間」です。人権が尊重され、安心して心豊かに暮らせるまちを目指し、町では期間中、次のような取り組みを行っています。主な人権課題は、部落問題や女性・子どもの問題、高齢者の問題、障がい者の問題、外国人・アイヌの人々の問題などです。一人ひとりが協力し、人権のまちづくりをすすめましょう。

▶期間中の主な取り組み

広報紙による啓発、全世帯に啓発チラシを配布、町内主要箇所に啓発のぼり旗・懸垂幕を設置、スーパー前など6か所で街頭啓発、公共出先機関など12か所で職場啓発、人権ポスター・標語の展示、人権講演会の開催など

【人権講演会】

※入場無料、手話通訳・託児（要事前申し込み・有料）あり。

●と き **12月4日(火)**
18時30分～
●と ころ **オークホール**



●テーマ
「うまれてきてくれて
ありがとう」

●講 師
monさん(歌手)

☎ 教育委員会社会教育課
人権同和啓発室 (☎ 82-5800)

ご理解・ご協力をお願いします

【Jアラート・音達調査】 防災無線で試験放送をします

◎地震や武力攻撃発生時に備えた全国一斉放送訓練 防災無線のスピーカーから放送されます

大災害や緊急事態発生時に備え、全国瞬時警報システム（Jアラート）を使用した自動放送訓練が全国一斉に実施されます。町でも町内に設置している防災無線のスピーカーから下記の内容が放送されますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。今回行うのは放送訓練です。特に皆さんが行動する必要はありません。



●全国瞬時警報システム（Jアラート）放送訓練

▷とき **11月21日(水)** 11時頃

①開始チャイム
②「これはテストです」
③「こちらは防災添田町です」
④終了チャイム

※全国瞬時警報システム（Jアラート）とは、他国などからの弾道ミサイル情報や緊急地震速報など、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を、人工衛星を用いて国（内閣官房・気象庁から消防庁を経由）から送信し、町の防災無線のスピーカーを自動起動することで、国から住民の皆さんへ緊急情報を瞬時に伝達するシステムです。

◎防災無線の音達調査です 防災無線の試験放送を行います

町内一部の防災無線のスピーカーで音達調査を行います。スピーカーの音量の調査ですので、特に皆さんが行動する必要はありません。

▷実施時期 **11月中旬頃**

▷実施時間 9時頃～17時頃

※1か所のスピーカーに対して数回テスト放送を行います。

※天候不良の場合は実施しません。

※調査する場合は事前に放送でお知らせします。

☎ 役防災管理課防災安全係 (☎ 82-4002)





身近なまちの話題について情報をお寄せください。
広報紙に掲載された写真は差し上げますので、お気軽に問い合わせください。



清掃活動を30年、桑野さんに感謝状 環境美化功労者

約30年にわたり、日向峠の除草作業やゴミ拾いなどの環境美化にボランティアで取り組んできた桑野俊彦さん(真木)に感謝状が贈呈されました。自宅近くの日向峠の落ち葉を片付けていたのがきっかけで、次第にポイ捨てされたゴミ拾いや草刈りなども続けてきた桑野さんに地域の皆さんも大変、感謝しているようでした。



↑約30年間、週2、3回の清掃を行ってきた桑野さん

戦没者892人の冥福と恒久平和を祈る 添田町戦没者慰霊祭

そえだジョイで10月17日、添田町戦没者慰霊祭がしめやかに挙行され、遺族や来賓など約70人が参列しました。式典では、高瀬知恵子遺族会会長が「日本の平和と繁栄は、尊い犠牲の上に築かれていることを忘れてはならない」と挨拶。その後、献吟や献花が行われ、添田町の戦没者 892 人の冥福と恒久平和を祈念しました。



↑菊の花をささげて、戦没者の冥福と平和を祈念

添田中の宮城さんが団体優勝に貢献 田川地区青少年健全育成剣道錬成大会

9月24日、田川市総合体育館で行われた「田川地区青少年健全育成剣道錬成大会第10回記念大会」で添田中学校1年生の宮城敢太さんが次鋒として出場した森安修道館(川崎町)が、団体戦中学生の部で見事優勝しました。宮城さんは、剣道を始めてまだ10か月ですが、道場で週3回の稽古に懸命に励み、優勝をつかみました。



↑森安修道館の剣士たち。後段の中央が宮城さん

もしもの時、自分たちに出来ること 民生・児童委員及び福祉推進委員研修

10月11日、大野城市山田公民館民生・児童委員と福祉推進委員約20人が研修のため添田町を訪問。そえだジョイで昨年7月の九州北部豪雨の状況や当時の対応について、添田町社会福祉協議会の職員や添田町民生・児童委員から説明を受け、災害時のそれぞれの役割分担や支援が必要な人への対応などを一緒に考えました。



↑災害時の対応について、意見が交わされました

町の良いところを都市部でアピール 第11回ふくおか町村フェア

さわやかな秋晴れとなった10月20日と21日の2日間、福岡市の天神中央公園で第11回ふくおか町村フェアが行われました。オープニングでは、寺西町長が祝い餅まきに参加。県内の28の町村が集結し、イベントを盛り上げました。添田町からは新鮮な野菜やヤマメの塩焼きなどを販売し、多くの人でにぎわっていました。



↑多くの人が野菜やサイダーなどを買求めました

3つの種目で勝敗を競い合いました 老人クラブ連合会秋のスポーツ大会

添田町老人クラブ連合会主催の秋のスポーツ大会が10月19日、そえだドームで行われ、約200人がゲートボールとグラウンドゴルフ、輪投げに参加しました。当日は秋雨の降るあいにくの天気となりましたが、日ごろの練習の成果やチームワークを発揮して、元気にボールを打ったり、投げたりと楽しい秋の一日となりました。



↑輪投げではねらいを定めて慎重にプレーしました

↓森事務次官⑥に要望書を提出する小川知事や渋谷博昭東峰村村長、寺西町長などの代表者



交通死亡事故ゼロの町を願い 秋の交通安全週間

秋の交通安全週間中の9月27日、交通事故をなくす添田町民運動本部による街頭キャンペーンと交通安全パレードが行われました。パレードでは、添田小学校鼓笛隊の演奏に合わせて、寺西町長らを先頭に添田小学校から役場までの道のりを行進。沿道の皆さんや運転手に子どもや高齢者の交通事故防止や飲酒運転の根絶を呼びかけました。役場前では、宮城幼稚園、くるみ保育園、添田小学校鼓笛隊が交通死亡事故ゼロの願いを込めて演奏を披露。また、長年交通安全運動に組織ぐるみで取り組んできたデイサービスセンターオレンジに交通安全功労者表彰が贈られました。

↓早朝に啓発活動をしたり、音楽を演奏したりして、運転マナーの向上を呼びかけました



↓台風のため順延となった運動会ですが、練習の成果を発揮、頑張りました(①、③落合、②真木小)



台風に負けず頑張った運動会 くるみ保育園・落合小と真木小

10月7日、台風のため順延となった、くるみ保育園と落合小学校による「保・小合同運動会」が落合小学校グラウンドで行われました。白熱した大一番となった男子児童による相撲やJR日田彦山線の復旧を願い園児と保護者が列車となって線路をつないでいく競技のほか、PTAや卒業生、長生会の皆さんも一緒に参加するなど地域がひとつとなった運動会となりました。また、同じく台風などによる天候不良のため順延となった「真木小学校運動会」が10月9日、真木小学校グラウンドで行われ、児童らはこれまでの練習の成果を発揮し、元気いっぱい競技を頑張っていました。



とうま
宗近 透真ちゃん
11月3日生 ③・町三

*大好きな透真君3歳のお誕生日おめでとう*優しい先生達やお友達に囲まれて毎日楽しいね!透真君のペースで大きくなってね



てると
八城 輝叶ちゃん
11月15日生 ②・峰地

お家でも保育園でもやんちゃな輝くん◎妹と仲良く元気に育ってね♡

お子さんの写真を掲載しませんか

3歳までのお子さんの写真を募集しています。写真とメッセージを役場総務課(☎82-1231)に持参、またはEメール(koudojyohou@town.soeda.fukuoka.jp)で送信してください。
12月生まれの締め切りは11月16日迄です。



ゆう
宮城 結ちゃん
11月27日生 ①・町四

食べることが大好きな結ちゃん、1才になったね、おめでとう♡たくさん食べて大きくなあれ♡パパ・ママより



けいじ
鬼丸 慶次ちゃん
11月12日生 ③・上中元寺

5歳のお兄ちゃんとクワガタ・カブトムシが大好きな男の子です。これから元気に育ってね!

まちかど特派員投稿

3人が全国大会に出場しました 全国障がい者スポーツ大会出場

英彦学園からの投稿です



↑伊藤さん⑥は女子壮年の部のソフトボール投げ2位、50m走で3位に入賞

10月13日から、福井県で行われた第13回全国障がい者スポーツ大会に英彦学園から本間英明さんと伊藤京子さんが陸上の部、山崎昭秋さんがフライングディスクの部に出場しました。学園では、今後もスポーツを通して、体力の維持や増強を図り、自立と社会参加の促進に努めます。

園児に笑顔と元気をもらいました 錦風荘敬老会

錦風荘からの投稿です



↑いつまでも元気に長生きしてください

9月19日、錦風荘敬老会を行いました。敬老会では、みどり保育園の園児たちから、かわいい歌や踊りで、お祝いしてもらいとても嬉しそうな様子でした。子どもたちからプレゼントとパワーをもらい、皆さんの健康長寿をお祝いすることができました。

まちのホットNews

津野小児童がポール・スポーツ

プロに学ぼう!学校de芸術体験

津野小児童の全児童14人が10月16日、プロダンサーの巽慎之介さんと静香さんからポールダンスから派生したポール・スポーツの授業を受けました。「プロに学ぼう!学校de芸術体験」と題したこの授業は、学校で芸術に触れる機会を創出しようとNPO法人アートもんが企画。ポールをつかみ、体を回転させたり、水平にしたりする技などに挑戦した児童たちは、音楽に合わせ、ポール・スポーツにダンスに交えて踊り、最後に全員でポーズを決めました。



↑巽さんから指導を受け、ポールをつかみ体を回転させる児童

真木小児童が学んだ思いやりの心

高齢者や障がい者を疑似体験

10月12日、真木小学校4年生が添田町社会福祉協議会の職員を講師に迎え、目や身体の不自由な人を疑似体験しました。視覚障がい者が使う点字や白杖について学んだ後、実際に車イスに乗って体育館まで移動。体育館では目隠しと白杖を使って、点字ブロックの上を歩きました。車イスでの段差や目の見えない不便さを体験をした児童は「点字ブロック上やスロープに物を置かないなど、自分たちでもできることをやっていきたい」と語っていました。



↑車イスを体験。通路上のわずかな段差や物がバリアとなります

カレー屋さんでおもてなしに挑戦

くるみフェスティバル

10月20日、くるみ保育園で「くるみフェスティバル」が行われました。保護者や先生が、お菓子すくいや射的、くじ引き、バザーなど楽しいイベントを企画。園庭の石窯で焼いたピザやかき氷、フランクフルトなどの販売も行われました。くるみ保育園児もカレー屋さんでお客様をおもてなし。注文を取り、席まで案内したり、料理を運んだりしました。また、落合小児童による紙芝居や豪華景品の当たる抽選会などで楽しい時間を過ごしていました。



↑「カレーはいかがですか」今日はぼくらが皆さんをおもてなし

文芸歳時記

【短歌 春扇短歌会 筑紫支社】

食堂で優しき人がニコリとす

綺麗な笑顔を忘れないでね

紫陽花の花どっさりと届けられ

どっさりどっさり玄關飾る

水張田に水皺寄せる夕風に

早苗はかぼそき葉先ふるはす

西の小窓が赤くなる陽の没り時の

真赤な太陽今日も見送る

仏壇に庭で育てし花供へ

父母を思へば恋しさつる

思ひきり間伐されし山腹の

木立美し故郷は広し

青梅のほのかな香り今年また

三キロ漬けて梅雨明けを待つ

【俳句 天籟通信添田句会 大池青湖選】

コスモスや指揮棒なしの自由律

彼岸花なれば夫つれ庭に咲け

かき分けて芒原の迷い道

彼岸花束ね咲く様家族かな

肩寄せて歩いた道よ金木犀

コスモスの笑顔もらえる散歩道

稲雀黄金の波へ次々と

法師蟬ことりと消えて木が残る

【俳句 投稿】

兼業か稗も混じっている田圃

風去りて友の便りや遊び声

山裾の田に白鷺の夕漁り

城裏は涼風通ふ野面積み

極楽橋渡りきつたる木下闇

山里は夕餉は早し冷奴

無花果や寂るる里の家屋敷

【短歌 投稿】

老いの身は残りいくつか知らねども

たゞありがたい今を生き生き

裏山にひとり登れば風のなか

熟柿ついばむつぐみ鳥かな

ラブラドル堀に手を乗せ立ち上がり

ホレホレと飛ぶパンを逃さず

戦もなく平和な国で幸なれど

胸の痛みし災害の多さよ

仲摩 直子

●12月号に掲載する俳句・短歌・川柳を募集します

11月16日迄までに役場総務課に連絡してください。

※投稿は1人一句まで。俳句・短歌・川柳の区分を書いてください。

〒役場総務課広報・秘書係(☎82-1231)

試験・募集

添田町社会福祉協議会
嘱託職員募集

【「デイサービス事業所職員」】

▼勤務地 デイサービス事業所

▼職種 介護職

▼募集人数 1人

▼勤務時間 火曜～土曜 8時

30分～17時15分

▼給与 月額6700円

※詳しくは問い合わせください。

【「特養そえだ職員（急募）」】

▼勤務地 特養そえだ

▼職種 調理員（パート）

▼募集人数 2人

▼勤務時間 ①9時15分～18時

15分 ②6時～15時

▼時給 850円

※詳しくは問い合わせください。

【「特養そえだ（☎82―4112）」】

誘致企業

（株）伊万里木材市場正社員募集

▼勤務地 （株）伊万里木材市場福

岡営業所

▼勤務時間 平日8時～17時

▼募集人数 整木作業員数名

▼勤務内容 フォークリフト、

ローダーを使用しての木材の

整木、積み込み

※応募方法など、詳しくは問い

合わせください。

【（株）伊万里木材市場福岡営業所

（☎82―5010）】

（株）ウッドディー―正社員募集

▼勤務時間 平日8時～17時

▼募集人数 数名

▼勤務内容 製材加工、森林整備

▼受付時間 平日8時～17時

※応募方法など、詳しくは問い

合わせください。

【（株）ウッドディー（☎82―3775）】

自衛官採用試験

【「自衛官候補生第5次募集」】

▼試験日 11月24日【土】

▼試験会場 小倉駐屯地

▼試験資格 18歳以上27歳未満

の人

▼受付期限 11月13日【火】

【陸上自衛隊高等工科学学校生徒

（推薦）】

▼試験日 平成31年1月5日【土】

～7日【月】の指定された1日

▼試験会場 陸上自衛隊高等工

科学学校

▼試験資格 学校長推薦の中卒

（見込含）17歳未満の男子

▼受付期限 11月30日【金】

【陸上自衛隊高等工科学学校生徒

（一般）】

▼試験日 平成31年1月19日【土】

▼試験会場 陸上自衛隊小倉駐

屯地、飯塚研究開発センター

▼試験資格 中卒（見込含）17歳

未満の男子

▼受付期限 平成31年1月7日【月】

【自衛隊福岡地方協力本部飯塚

地域事務所

（☎0948―22―4847）】

県営住宅入居者募集

▼募集住宅 県内に所在する県

営住宅（募集対象団地や募集

戸数などの詳細は、募集案内

書を確認ください）

▼募集案内書の配布と受付期間

12月17日【月】～12月26日【火】

▼募集案内書配布場所 役場住

環境整備課、県内各市役所・

町村役場、公社管理事務所田

川出張所ほか

【福岡県住宅供給公社県営住宅

管理部管理課

（☎092―781―8029）】

農地の出し手、受け手募集

農地中間管理機構（公益財団

法人福岡県農業振興推進機構）

を通じて、農地の貸借を行いま

せんか。農地中間管理機構は、

農地を貸したい出し手から、規

模拡大などを行いたい受け手（担

い手）への農地の集積・集約化

を進めるための中間的受け皿と

なる組織です。

公的機関ですので、農地の出

し手は確実に賃料が振り込まれ

るなど、安心して貸し出すこと

ができます。また、受け手は、

契約や地代の支払いを一本化で

きるメリットがあります。

※詳しくは問い合わせください。

【福岡県水田農業振興課

（☎092―716―8355）】

▼農地出し手の募集 随時

▼農地受け手の募集期限 11月

30日【金】

▼機構を通じた農地の権利設定

平成31年5月～6月

【福岡県水田農業振興課

（☎092―643―3473）】

平成30年度福岡県沖縄地域

戦没者慰霊巡拝団員募集

▼とき 平成31年1月17日【火】～

18日【金】（追悼式は17日【火】14時

～15時）

▼ところ 沖縄県糸満市「福岡

の慰霊の塔」

▼方式 無宗教献花方式

▼募集人数 20人

▼申込期限 11月22日【土】

※参加資格など詳しくは問い合

わせください。

【一般財団法人福岡県遺族連合

会（☎092―761―0012）】

防災・防犯

知っておこう！避難情報

災害時などに発

表される避難情報

には次のような種

類があります。避

難情報の種類と内

容を正しく理解し、

災害から身を守りましょう。

①自主避難所開設情報

事前に災害が予想されるとき

に、自主的な避難者を受け入れ

るために避難所を開設しますと

いう情報です。

②避難準備・高齢者等避難開始

いつでも避難できるように準

備をしてください。避難に時間

のかかる人は避難を開始してく

ださい。

③避難勧告

災害による被害が予想され、

人的被害が発生する可能性が高

まっています。避難を開始して

ください。

④避難指示（緊急）

直ちにその場から避難してく

委員連合会では、

11月12日【月】から18

日【金】までの1週間

を、全国一斉「女

性の人権ホットラ

イン」強化週間として、女性に

関する人権問題についての相談

を電話で受け付けます。

▼とき 11月12日【月】～16日【金】

8時30分～19時、17日【土】～18

日【月】10時～17時

▼相談内容 夫・パートナーか

らの暴力、職場でのセクハラ、

ストーカーなど、女性に関す

る人権問題

【全国共通ナビダイヤル

（☎0570―070―810）】

の心のケアを行う専門の相談電

相談

犯罪被害者電話相談

「心のリリーフ・ライン」

福岡県警察では、犯罪被害者

に全国警察の総力を挙げて追跡

捜査を行い、被疑者の早期検挙

に取り組んでいます。

捜査活動には皆さんの協力が

必要です。指名手配被疑者に関

する情報はどんなことでも警察

へ通報をお願いします。

【福岡県警察本部犯罪被害者相

談電話「心のリリーフ・ライン」

（☎092―632―7830）】

性犯罪被害相談電話（24時間）

（☎8103）】

女性の人権ホットライン

福岡法務局と福岡県人権擁護

あなたの想いで

救える命がある

あなたの想いで

救える命がある

あなたの想いで

救える命がある

あなたの想いで

救える命がある

あなたの想いで

救える命がある

あなたの想いで

救える命がある

あなたの想いで

救える命がある

あなたの想いで

救える命がある

あなたの想いで

救える命がある

あなたの想いで

救える命がある

添田町消防団 団員を募集しています

消防団は、地域に密着した防災機関として、
火災の消火活動や、地震・風水害の各種
災害はもちろん、災害の予防広報活動など、幅広い活動を行っています。「自分のまちは自分で守る」。そんな熱い思いを持った人、地域の防災リーダーとして地域に貢献したい人、消防団の活動に興味のある人の入団をお待ちしています。

●応募資格

18歳以上で、町内に在住または在勤している人
※性別や職業（勤労者・学生）は問いません。

●主な活動

災害時▷▷消火活動や災害活動など
平常時▷▷消火訓練や定期的な夜間の見回り、
広報活動など
※女性団員は啓発活動や後方支援が主です。

●待遇

消防団員は特別職の地方公務員となり、公務災害補償制度があります。また、5年以上勤務した人には退職金が支払われます。

●貸与品

法被、活動服など一式

●表彰制度

職務にあたって功労・功績があった場合は表彰されます

【福岡県消防団員会（☎82-4002）】

人の動き

9月末日現在（ ）は前月比

- 人口 9,950人（－14人） ●出生 5人
- 男性 4,696人（－2人） ●死亡 12人
- 女性 5,254人（－12人） ●転入 18人
- 世帯数 4,752世帯（±0世帯） ●転出 25人

相談

●心配ごと相談（そえだジョイ／10時～15時）
11月20日☎、12月4日☎

●補聴器相談（役場ロビー）
11月9日☎（15時～）、14日☎（13時～）

●無料法律相談会
（福岡法務局田川支局／13時～16時）
11月13日☎、12月11日☎

※利用条件あり。詳しくは問い合わせください。

☎ 法テラス福岡（☎050-3383-5502）

●こころの健康相談（田川保健福祉事務所／予約制）
11月13日☎（10時～）、22日☎（14時～）

☎ 田川保健福祉事務所健康増進課（☎42-9307）

●女性の健康相談・不妊相談（福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所／要予約）

11月7日☎、12月5日☎（13時30分～16時30分）

☎ 福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所健康増進課健康増進係（☎0948-29-0277）

事件事故発生状況

9月の事件発生状況（ ）内は昨年同月比		
種 類	発生件数	今年の累計
オートバイ盗	0（±0）	3
性犯罪	0（±0）	0
車上ねらい	0（±0）	0
空き巣・忍び込みなど	0（±0）	1
9月の事故発生状況（ ）内は昨年同月比		
種 類	発生件数	今年の累計
事故発生（物件+人身）	10（－2）	157
死亡者	0（±0）	0
負傷者	3（－2）	35

納期限のお知らせ

- 11月30日☎が納期限です
 - ▷固定資産税（4期）
 - ▷国民健康保険税（5期）
 - ▷後期高齢者医療保険料（5期）

☎ 役場住民課税務・滞納対策係（☎82-1234）

休館／クアハウス

- 清掃・施設点検などのため
 - ▷とき 11月6日☎～11日☎

☎ クアハウス（☎82-5061）

11月は児童虐待防止推進月間です

児童虐待問題に対する社会的関心の喚起を図るため、厚生労働省では毎年11月を児童虐待防止推進月間と定め、集中的な広報・啓発活動を実施しています。児童虐待かとも思ったらすぐに児童相談所全国共通3桁ダイヤル「189（いちはやく）」に電話してください。



☎ 役場保健福祉環境課健康対策係（☎88-8111）

無にかかわらず2年毎に氏名や住所などの事項を届け出ることが義務づけられています。今年はその届出年ですので、期限までに提出してください。

▼届出票配布場所 県内の保健所・保健福祉（環境）事務所窓口、県ホームページ

▼届出先 住所地を管轄する保健所・保健福祉（環境）事務所

▼期限 平成31年1月15日☎

☎ 福岡県保健医療介護総務課（☎092-643-3238）

看護師、歯科衛生士、歯科技工士で、これらの免許にかかる業務に従事している人は、2年ごとに住所・氏名などを届け出ることが法律で義務付けられています。今年はその届出年ですので、期限までに提出してください。

▼届出票配布場所 県保健福祉（環境）事務所・保健所、県ホームページ

▼届出先 勤務地の県保健福祉（環境）事務所または保健所

▼期限 平成31年1月15日☎

☎ 福岡県医療指導課（☎092-643-3276）

11月12日☎から25日☎の期間は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。夫やパートナーからの暴力、性犯罪、売買春、ストーカー行為など、女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものです。この機会に、女性に対する暴力の根底に

時々15時／予約不要

▼ところ 田川保健福祉事務所

▼検査項目 HIV、梅毒

※臨時検査日以外にも、毎週火曜日に性感染症の検査を行っています。

☎ 福岡県田川保健福祉事務所（☎42-9379）

ある女性の人権について考えてみましょう。

○特別養護老人ホームそえだへ

▼慰問 ▼赤間徳夫（岩瀬）▼伊藤麗子（添田中）▼三十九七子（添田中）▼高橋浩月（町四）▼坂本泰子（峰地）

（平成30年10月14日現在）

○添田町社会福祉協議会へ

▼香典返し ▼（故）梅原和雄（中津野）▼（故）屋方ヌイ子（一ノ宮）▼（故）廣田信代（上中元寺）

○教育委員会社会教育課男女共同参画推進係

（☎82-5800）

ありがとうございます（敬称略）

くらしに役立つ情報満載 Information

2018 秋のウォーキング

▼とき 11月18日☎10時～14時（集合9時30分）

▼集合場所 添田町体育館駐車場

▼コース 添田町体育館駐車場→不動池→鷲越峠→弓張林道→赤村展望ヶ所（昼食）→添田町体育館

※昼食は各自持参してください。 ※雨天中止。参加無料です。参加を希望する人は事前に問い合わせください。

☎ 代さん（☎090-6638-7523） 久保田さん（☎080-3223-0611）

福岡県立大学公開講座「私たちの菓子物語」

▼とき 12月4日☎12時50分～16時

▼ところ 福岡県立大学附属研究所（田川市）▽講師 郷土史研究家牛嶋英俊氏、チクスキプロデューサー小野田隆太郎

氏 ▽コーディネーター 福岡県立大学教授神谷英二氏

▼参加費 500円（田川市在住、在勤者は300円）

▼定員 30人程度

▼申込締切 11月20日☎

※託児や合理的配慮（手話など）が必要な人は事前にお知らせください。

☎ 福岡県立大学附属研究所生涯福祉研究センター（☎42-2109）

筑豊アディクションフォーラム

アディクションとは習慣の病のことで、アルコール依存症や薬物依存、摂食障害、ギャンブル依存などがあります。アディクションの家族や友人、援助をしている関係者など、皆さんの参加をお待ちしています。

▼とき 11月25日☎10時～

▼ところ 立岩交流センター（飯塚市）

▼参加費 200円（資料代）

▼内容 基調講演「回復のカタチ」生きづらさはどうなりましたか？／臨床心理士中島薫氏、自助グループ紹介など ※各自昼食を準備してきてください。

☎ 筑豊アディクションネットワ

ーク会議代表 山方さん（☎090-1979-6273）

第27回筑豊糖尿病のつどい

嘉麻ふれあいまつりと同時開催です。

▼とき 11月10日☎・11日☎

▼ところ 嘉麻ふれあいまつり会場内（嘉麻市立織田廣喜美術館裏）

▼内容 血糖・血圧・血管年齢測定、医療相談

☎ 大村内科医院（☎0948-65-0016）

世界糖尿病デー ライトアップイベント

▼とき 11月17日☎

▼ところ イオン穂波店

▼内容 14時～自己血糖測定・医療相談など、17時30分～二瀬炭鉱記念碑ブルーライト点灯

☎ 飯塚市立病院（☎0948-22-2980）

税・滞納 STOP 滞納！ 県下一斉徴収強化月間

添田町では、福岡県や県内市町村と連携し、個人住民税をは

じめとする地方税の徴収率の向上と滞納の縮減を図るため、12月を「県下一斉徴収強化月間」と位置づけ、県下一斉に広報による納税推進、滞納者に対する催告の強化、差押やタイヤロック、搜索等の滞納処分強化など様々な徴収対策に取り組めます。

この機会に、納め忘れの税金がないか確認しましょう。

納税に関する問い合わせは、税金の種類に応じて、各市町村または県税事務所の収納窓口となります。必ず納税通知書などで確認してください。

☎ 役場住民課税務・滞納対策係（☎82-1234）

税を考える週間 「くらしを支える税」

毎年11月11日～17日の「税を考える週間」は、国民生活に深い関わりを持つている税について、その必要性や役割、税務行政の現状をわかりやすく説明し、国の基本となる税に対する理解を深めてもらうため設けられています。詳しくは国税庁ホームページをご覧ください。

☎ 田川税務署（☎44-0430）

平成30年分年末調整説明会

▼とき 11月21日☎ ▼田川市内の法人・個人Ⅱ10時～12時 ▼田川郡内の法人・個人Ⅱ14時～16時

▼ところ 田川青少年文化ホール（田川市）

☎ 田川税務署法人課税部門（☎44-4576）

筑豊地区合同公売会

滞納処分のために差し押さえた動産を公売します。具体的な公売品などについては、開催日前に県公式ホームページに掲載します。

▼とき 11月17日☎10時30分 入札開始（開場9時30分）

▼ところ 田川市民会館（田川市）

▼入札に必要なもの 代金、身分証明書、印鑑

☎ 福岡県飯塚・直方県税事務所（☎0948-21-4968）

医師・歯科医師・薬剤師は2年に1度の届出を

医師、歯科医師、薬剤師の免許を持っている人は、就業の有

お知らせ



◇発行／添田町 ◇編集／総務課
〒824-0691 福岡県田川郡添田町大字添田 21-51 番地
☎0947-82-1231 FAX0947-82-2869
ホームページ <http://www.town.soeida.tokuoka.jp>



会場は多くの人で賑わいました



真木保育園鼓笛隊



27日の餅まきも大盛況



江口勝副知事にも来場



添田の食や文化が大集合 第31回ふる里まつり

10月27日と28日、ふる里まつりが、オークホール横
駐車場で行われました。会場では、野菜やしし汁など
添田の味覚が大集結し、姉妹町・北海道美深町の特産
品も販売されました。また、ステージイ
ベントや豪華賞品が当たる抽選会など
もあり、大盛況な2日間となりました。



添田中学校吹奏楽



風見鶏



モンゴルダンススクール



テレビ大当たり!



広報そえだ 町長室

昨年(平成29年)の九州北部豪雨災害から1年4か月が経過しています。いま復旧・復興に向け皆さんと共に頑張っています。J R九州は復旧のめどすら立っていません。J R九州青柳社長の「鉄道で復旧したいので、協議の場に参加してもらいたい」との要請から沿線関係の福岡県、大分県、東峰村、日田市、添田町による「日田彦山線復旧会議」が平成30年4月4日に設置されました。▼復旧会議ではJ R九州は災害復旧費として当初70億円かかるとし、J R九州単独での負担は難しいと発言しています。J R九州の規模や運営状況から見てもそんなこと無いだろうと思いつつも協議会に臨み、知恵を絞る、国、県等の災害における補助金等を活用し、減額して取り組んだところです。▼その結果、現在のところ15億円程度の減額を見ています。▼まだまだ減額されます。残りの復旧費用で半分近くを占める添田町の彦山川に架かる彦山川第二・第三鉄橋の二つについて、J Rとして新たに架け替えることで検討し、提案していますが、皆さんご承知のとおり、この鉄橋は完全に流された鉄橋でも無く、目視では久大本線のように安全な丈夫なものではないかと考えているところです。そうしますと架け替えの費用は今試算している20数億円の一割程度の復旧費ででき、総額も当初の半分以上になるのではと思っています。▼

また、この鉄橋は周辺堤防より低く、河川の防災管理上からもJ R九州が日田彦山線を復旧すると決めれば、国土交通省も堤防を高くし、架け替えなどを行う。その費用負担についてはJ R九州と協議すると言っており、J R九州負担分はまだまだ減額されます。これに加え、今般成立した鉄道軌道法の改正案を適用すれば自治体負担分は増えますが、J R九州の日田彦山線災害復旧費は十数億円程度の負担で出来ることとなります。▼J R九州が頑なに主張しているのは、復旧費はともかく、これから先、継続的運行が出来るようにすることだと言っています。確かにそのことは必要であり、継続的運行についての課題克服は容易ではないことは承知しています。しかし、課題解決の道は未来に向けての一步一步の行動の積み重ねしかないと思います。それは、赤字分を容易に自治体へ負担を求めたりするのではなく、ひとりでも多くの利用客増を図ることが根本的な解決策だと考えます。関係自治体と一体となつて将来を見据えた利用増対策など、しっかりと検討し、実施することです。▼例えば、ゆふいんの森号を日豊本線に走らせるだけでなく、日田彦山線にも走らせるとか、快速列車を走らせ利用客の利便性を高め、増加を図るなどの対策はいくらでもあると思います。▼今後、精力的に活性化・増員策を協議し、早急に復旧・全面開通が出来るように頑張っていきたいと思います。住民の皆さんのご支援ご協力をお願いしまして、経過の報告といたします。